

かわさきコロナ情報(動画特設ページ)

#26 令和2年8月4日～PCR検査・抗原検査の実施の考え方等～

8月4日火曜日、かわさきコロナ情報をお伝えします。

今日は、毎週お伝えしている現状の感染者の数と、そして大変皆さん質問が多い、検査体制のことについてお話をさせていただきたいと思います。

まずは現状についてです。

本日発表いたしました新規の陽性者の方の人数でありますけれども、25人ということで、昨日の25人に続いて、過去最も多い1日の感染者数となっています。

この直近3週間を見ていきたいと思います。

先週一週間で、新規の陽性者数は99人ということでありますので、その前の週60人台から比べて、少し多くなってきております。

一方で、市内の医療機関に入院されている入院患者の方の数ですけれども、49人ということで、前週の55人からやや減っている状況にあります。

今、川崎市内の医療機関でコロナ対応の病床数は270床確保しておりますので、そういった意味では今現時点でひっ迫している状況にはございません。

直近一週間の、人口10万人当たりの新規陽性者数でありますけれども、先週は6.47人ということになっておりまして、前の前の週と比べて4人台だったところから増えているという状況です。

また、週当たりの陽性者増加比というのも1.5人ということで、少し上がっています。

国が示している基準の1を上回っている状況にあります。

感染経路不明者の割合ですけれども、66%ということで、引き続き高い傾向が続いています。

直近1週間の陽性率でありますけれども、5.34となっております、その前の週の5.38というところからほぼ横ばいと見ていただいてもいいと思います

さて先週の状況を、毎週のことですけれども、健康安全研究所の岡部所長から評価をしてもらっていますのでそのまま読ませていただきます。

新規陽性者数は、99人と増加傾向が続いています。

市内の流行状況を示す目安基準はいずれも前週を上回っており、アラート状態ではありませんが引き続き注意は必要です。

川崎市内においては重症患者さんの受け入れには余裕があり、一般の医療も落ち着いて行われておりますが、軽症でホテルや自宅などで様子を見ている方の数は増加しており、できるだけ感染者数が増えないようにする注意は依然として必要です。

戸外でもしっかりマスクを着けていると熱中症リスクも高まります。戸外や風通しの良いところで、人と人の感覚が十分にあいているような所では、マスクを外し良い空気を吸うことも健康のために大切です。

また、夏休みを利用してお出かけの際は、混雑する場所や時間帯はできるだけ避けて、家

族単位などの少人数でゆっくりと過ごされることをお勧めいたします。

とこういうことでございます。是非この注意をよく守っていただいておりますとお過ごしいただければと思います。

それでは、次に検査のことについてお伝えします。

市民の皆様からは、もっと検査数を増やすべきだとか、あるいは無症状の方でもどんどん検査をやってほしいといった御要望もあります。

またインターネット、SNS 上では、間違った情報が流れているということもありますので、少し正確にお伝えをしていきたいと思っております。

そもそも PCR 検査・抗原検査は何のためにやっているかという、やはりコロナの感染者の方を確実に確定させて、その確定された方を適切な療養につなげ、またそれ以上感染を拡大させないために確定してそこをしっかりと把握すると、そういった感染拡大防止のために検査を行っているということです。

PCR 検査、それから抗原検査というのが行政検査で用いている方法です。どこを検査しているのということでもありますけれども、陽性者と接触がある方、これは症状がある方もない方も行政検査を行っています。そして陽性者と接触がない、あるいはわからないという方で、症状がある、いわゆる風邪症状があるという方も、医師がこの方には検査を受けていただく必要があると判断した場合には、行政検査を行いますということです。ですから、医師がこの方は必要ないなという方については、行政検査を行っていません。

そしてよく民間企業の皆さんが、海外渡航するのに陰性証明書が必要ですか、あるいはプロ野球ですとか Jリーグなどで、スポーツ選手が 2 週間に一度検査をしているという話というのは、症状がない、あるいは陽性者と接触がなくても検査をするというのは、まさにこの自由診療のところで行っているものです。

ですから、いわゆる行政検査というものは全く違うもの、自由診療の中でやっているものというのは、これを区別して考えていただきたいと思います。

今どのぐらいの件数を市の健康安全研究所で結果が出せるのということですが、御質問をいただきますけれども、MAX でやると一日大体 300 検体ぐらいを取り扱うことができます。

ちなみに今日の検査数ですが、市の健康安全研究所で行ったのは 73 検体を検査しています。

一方で、民間での検査というところも約 450 検体ぐらいは検査を行っているということです。これは日によってばらつきはあります。

けれどもまだ、例えば行政検査の健康安全研究所で行える PCR 検査にも余裕があるということでもありますし、そういうことでございます。ですから、必要な方に必要な PCR 検査や抗原検査を受け入れる体制というのはまだしっかりあるということでもありますし、これからも検査体制を拡充していく準備もどんどん進めています。

例えば 5 月のゴールデンウィーク明けからは、川崎市の医師会の先生方に御協力をいただいて、市内 3 カ所で集団の集合検査所を設けていますし、現在市内の診療所やクリニック

などでも検査が受けられるような、そういう体制作りを今整えているところです。

どこで受けられるかということは今後も公表はいたしませんけれども、保健所などを通じて必要な方にはしっかりと検査が受けられる体制をしっかりと整えていくということを現在進行形で進めています。

そしてこれからも、当初は PCR 検査しかできなかったものが抗原検査も行政検査として認められ、あるいは様々な検査方法がこれからも出てきますので、そういった認められているものを次々と受け入れていく、そういった検査体制をこれからも整えていきたいと思っています。

先日 7 月 30 日、川崎市の健康安全研究所を菅官房長官にも御視察をいただいて、今どういことを現場でやっているのかということをお視察いただきました。本当にこの未知のウィルスの対処には正確な診断を行う検査が不可欠だというコメントが、官房長官からありました。

しっかりと国とも連携を取りながら、必要な方に必要な検査がしっかりできる体制をこれからも確立してまいりますので、皆さんの正しい御理解をいただければと思います。

今日は以上です。